

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 サンフロンティア不動産
 コード番号 8934 URL <http://www.sunfrt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀口 智顕
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 齋藤 清一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 03-5521-1301

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	20,031	△27.6	△12,281	—	△12,897	—	△12,888	—
20年3月期第3四半期	27,665	49.8	5,301	44.5	4,937	46.7	2,749	16.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△38,879.83	—
20年3月期第3四半期	8,295.45	8,293.30

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	37,833		12,714		33.5	38,201.30		
20年3月期	57,316		26,085		45.5	78,584.15		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 12,663百万円 20年3月期 26,050百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	1,500.00	1,500.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	△34.8	△12,600	—	△13,400	—	△12,500	—	△37,707.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 331,495株 20年3月期 331,495株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 331,495株 20年3月期第3四半期 331,467株

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の世界経済は、米国投資銀行の破綻を機に一段と深刻化した金融危機の影響により、急速に悪化してまいりました。また、わが国においても、円高・需要の減退等により景況感が急速に悪化しており、10～12月期の実質GDPが前期比年率換算で10%を超える大幅なマイナス成長を予想する声も多く、深刻な景気後退が懸念される状況となりました。当不動産業界においても、金融危機・信用収縮の影響により、不動産融資は縮小し、取引は低調となり、価格も下落しました。

そのような中、当社では財務体質の強化を図るべく、商品化前の在庫を含めたたな卸資産の早期売却を積極的に進めてまいりました。また、不動産価格の早期回復が見込みにくい市況に鑑み、たな卸資産評価損として9,421百万円を売上原価に計上し、更には繰延税金資産の取り崩し、短期負債の圧縮・長期負債へのシフト等を、痛みを伴いつつも積極的に進めてまいりました。一方で、大幅な経費削減（本社オフィスの統合、広告宣伝費等）にも全社を挙げて取り組み、損益分岐点の引き下げを急ぎ行ってまいりました。

以上の結果として、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高5,342,488千円、営業損失10,899,616千円、経常損失11,040,770千円、四半期純損失12,364,929千円となりました。

各事業種別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産再生事業）

当四半期のリブランニング事業は、在庫物件の完売を期して、前四半期に引き続き「実需層」をターゲットとした積極的な販売活動を推進してまいりました。しかしながら、上述のとおり景気の急速な減退、金融収縮の深刻化の影響から、不動産市況は一段と悪化した状況となりました。このような中、当社では価格に柔軟性を持たせつつ積極的に販売を行いましたが、結果としては売却6件、売上高4,644百万円に止まりました。また、今後の市況回復にはなお時間を要するとの見通しの下、見込み販売価格を保守的に算出し、期末在庫18件のうち対象となる12物件について、たな卸資産評価損として9,421百万円を売上原価に計上し、その結果リブランニング事業の売上総損失は10,532百万円となりました。一方で、仕入については、購入打診物件につき慎重に検討した結果、当四半期において購入した物件はありませんでした。

賃貸ビル事業は、9月度に固定資産（賃貸事業用ビル）を売却したこと、および上記物件売却を行ったこと等による賃料収入の減少要因はあるものの、既存物件の稼働率は上昇傾向にあり、総じて堅調に推移いたしました。その結果、売上高368百万円、売上総利益211百万円となりました。

以上の結果として、売上高5,012,752千円、営業損失10,590,955千円となりました。

（不動産サービス事業）

当四半期の不動産サービス事業は、売買仲介部門を中心としてリブランニング物件の販売に集中特化し、その他部門においても販売を促すための満室化を強力に進めてまいりました。

売買仲介事業においては、前四半期に引き続きリブランニング物件の売却活動に集中特化しております。あらゆる方面への物件情報の浸透活動を積極的に展開してまいりましたが、10月以降急速に悪化した金融市場の影響によって、不動産向け融資は一層萎縮し、取引数は低調となりました。

賃貸仲介事業においては、リブランニング物件の満室化と仲介案件の大型化を命題として取り組んだことが奏功し、特に販売注力案件の満室化を実現しております。仲介案件としては、昨今の市況悪化を受けて、企業の縮小移転ニーズが徐々に顕在化してきており、良質な中型物件の需要は引き続き堅調であります。

プロパティマネジメント事業においては、リブランニング物件売却後の管理を受託し、オーナー・テナント双方の満足度向上を図るべく活動してまいりました。また、支店エリア内での管理受託増を目指し、リーシング業務の強化を図るとともに、ビルの価値を高めるべく建築改修提案等を積極的に行ってまいりました。

滞納賃料保証事業においては、景気後退の影響を受け、保証先の滞納件数が若干ながら増加傾向にありますが、市場全般の空室率上昇傾向を背景に、貸手優位のマーケットから借手優位のマーケットに転換している状況を捉え、営業戦略を変更し取組んだ結果、保証受託残高は堅調に推移いたしました。

以上の結果として、売上高265,273千円、営業損失163,369千円となりました。

（その他不動産事業）

アセットマネジメント事業、および不動産証券化事業においては、当社グループが出資する私募ファンドからのアセットマネジメント報酬、および配当金収入が安定的に計上され、堅調に推移いたしました。

以上の結果として、売上高64,462千円、営業利益50,792千円となりました。

所在地別セグメントの業績につきましては、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載していません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は37,833,057千円（前連結会計年度末比34.0%減）、負債は25,119,031千円（同19.6%減）となっております。総資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少1,282,424千円、たな卸資産の減少15,609,353千円、繰延税金資産の減少988,383千円及び流動資産その他（前渡金等）の減少1,142,957千円等によるものであります。負債の減少の主な要因は、有利子負債の減少2,320,222千円、買掛金の減少413,124千円、未払法人税等の減少1,479,765千円及び固定負債その他（預り保証金等）の減少1,582,372千円等によるものであります。また、純資産は12,714,026千円（同51.3%減）となり、純資産の減少の主な要因は、四半期純損失（累計）の計上12,888,469千円及び配当金の支払497,242千円等によるものであります。この結果、自己資本比率は33.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、有形固定資産の売却による収入及び長期借入による収入等があったものの、不動産再生事業におけるリプランニング物件取得によるたな卸資産の増加額等があった結果、第2四半期末残高に比べ786,255千円減少し、当第3四半期連結会計期間末残高は、3,663,422千円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フロー及びそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,068,428千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失11,048,020千円があったものの、たな卸資産の減少額14,538,386千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は77,568千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入45,000千円及び差入保証金の回収による収入10,000千円があったものの、定期預金の預入による支出135,018千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,777,114千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,500,000千円があったものの、短期借入金の純減額4,038,000千円及び長期借入金の返済による支出1,239,104千円等があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当該業績予想につきましては、平成20年10月30日付にて発表いたしました数値を修正しております。修正内容につきましては本日発表しております「平成21年3月期通期連結業績予想および配当予想の修正、並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,940,484	5,222,909
売掛金	89,971	55,126
販売用不動産	14,372,674	24,913,204
仕掛販売用不動産	15,421,028	20,487,697
貯蔵品	1,405	3,559
繰延税金資産	—	988,383
その他	146,903	1,289,592
貸倒引当金	△3,991	△60
流動資産合計	33,968,476	52,960,413
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	953,449	1,138,030
車両運搬具（純額）	1,654	2,174
土地	722,773	1,261,337
その他（純額）	27,053	39,158
有形固定資産合計	1,704,930	2,440,701
無形固定資産		
その他	58,845	73,726
無形固定資産合計	58,845	73,726
投資その他の資産		
投資有価証券	1,727,832	1,461,737
その他	440,603	383,107
貸倒引当金	△67,630	△3,530
投資その他の資産合計	2,100,805	1,841,314
固定資産合計	3,864,581	4,355,742
資産合計	37,833,057	57,316,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,342	594,467
短期借入金	2,000,000	13,190,000
1年内償還予定の社債	108,000	108,000
1年内返済予定の長期借入金	4,805,628	7,878,000
未払法人税等	10,603	1,490,368
賞与引当金	14,485	90,658
工事保証引当金	22,300	47,500
その他	785,508	1,029,977
流動負債合計	7,927,867	24,428,971
固定負債		
社債	324,000	378,000
長期借入金	15,819,410	3,823,260
繰延税金負債	68,451	38,607
その他	979,302	2,561,674
固定負債合計	17,191,164	6,801,541
負債合計	25,119,031	31,230,513

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,228,308	7,228,308
資本剰余金	7,289,643	7,289,643
利益剰余金	△1,855,668	11,530,043
株主資本合計	12,662,283	26,047,994
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,255	2,259
評価・換算差額等合計	1,255	2,259
新株予約権	50,487	35,388
純資産合計	12,714,026	26,085,642
負債純資産合計	37,833,057	57,316,156

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	20,031,266
売上原価	29,714,814
売上総損失(△)	△9,683,547
販売費及び一般管理費	2,598,341
営業損失(△)	△12,281,889
営業外収益	
受取利息	7,064
受取配当金	375
保険解約返戻金	2,834
その他	3,491
営業外収益合計	13,765
営業外費用	
支払利息	428,712
融資関連費用	199,513
その他	1,037
営業外費用合計	629,263
経常損失(△)	△12,897,386
特別利益	
固定資産売却益	1,058,783
工事保証引当金戻入額	627
特別利益合計	1,059,411
特別損失	
固定資産除却損	26,336
特別損失合計	26,336
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,864,312
法人税、住民税及び事業税	5,509
法人税等調整額	1,018,647
法人税等合計	1,024,156
四半期純損失(△)	△12,888,469

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	5,342,488
売上原価	15,410,310
売上総損失(△)	△10,067,821
販売費及び一般管理費	831,794
営業損失(△)	△10,899,616
営業外収益	
受取利息	33
保険解約返戻金	1,136
その他	676
営業外収益合計	1,846
営業外費用	
支払利息	142,187
その他	813
営業外費用合計	143,000
経常損失(△)	△11,040,770
特別利益	
工事保証引当金戻入額	100
役員賞与引当金戻入額	18,500
特別利益合計	18,600
特別損失	
固定資産除却損	25,850
特別損失合計	25,850
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,048,020
法人税、住民税及び事業税	2,195
法人税等調整額	1,314,713
法人税等合計	1,316,909
四半期純損失(△)	△12,364,929

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△11,864,312
減価償却費	324,130
新株予約権の増減額 (△は減少)	15,098
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	68,031
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,172
工事保証引当金の増減額 (△は減少)	△25,200
受取利息及び受取配当金	△7,440
支払利息	428,712
固定資産売却損益 (△は益)	△1,058,783
固定資産除却損	26,336
売上債権の増減額 (△は増加)	△172,906
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,350,795
仕入債務の増減額 (△は減少)	553,547
未払消費税等の増減額 (△は減少)	27,947
未収消費税等の増減額 (△は増加)	186,439
預り保証金の増減額 (△は減少)	△1,563,203
その他	△198,302
小計	2,014,717
利息及び配当金の受取額	7,440
利息の支払額	△378,793
法人税等の支払額	△1,474,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△315,101
定期預金の払戻による収入	461,145
有形固定資産の取得による支出	△5,445
有形固定資産の売却による収入	1,745,927
無形固定資産の取得による支出	△2,199
投資有価証券の取得による支出	△319,300
短期貸付けによる支出	△65,000
差入保証金の差入による支出	△4,831
差入保証金の回収による収入	20,707
その他	5,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,521,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11,190,000
長期借入れによる収入	18,160,000
長期借入金の返済による支出	△9,236,222
社債の償還による支出	△54,000
配当金の支払額	△494,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,814,783
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,124,379
現金及び現金同等物の期首残高	4,787,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,663,422

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	不動産 再生事業 (千円)	不動産 サービス事業 (千円)	その他 不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,012,752	265,273	64,462	5,342,488	—	5,342,488
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,012,752	265,273	64,462	5,342,488	—	5,342,488
営業利益（又は営業損失）	(10,590,955)	(163,369)	50,792	(10,703,532)	(196,083)	(10,899,616)

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	不動産 再生事業 (千円)	不動産 サービス事業 (千円)	その他 不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	19,021,504	820,092	189,670	20,031,266	—	20,031,266
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,021,504	820,092	189,670	20,031,266	—	20,031,266
営業利益（又は営業損失）	(11,544,551)	(359,489)	127,995	(11,776,045)	(505,843)	(12,281,889)

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品等

- (1) 不動産再生事業 …… 再生型中古事業用ビルの購入、改修、賃貸、販売
- (2) 不動産サービス事業 …… 売買仲介、賃貸仲介、プロパティマネジメント、建築企画、滞納賃料保証、不動産融資保証
- (3) その他不動産事業 …… アセットマネジメント、私募ファンドの企画、組成、運営

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	27,665,570
II 売上原価	20,149,392
売上総利益	7,516,177
III 販売費及び一般管理費	2,214,241
営業利益	5,301,936
IV 営業外収益	67,511
V 営業外費用	431,889
経常利益	4,937,558
VI 特別利益	47,634
VII 特別損失	6,751
税金等調整前四半期純利益	4,978,441
税金費用	2,228,770
四半期純利益	2,749,671

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,978,441
減価償却費	417,127
新株予約権の増加額	26,269
貸倒引当金の減少額	△104
賞与引当金の減少額	△50,727
役員賞与引当金の減少額	△7,000
役員退職慰労引当金の減少額	△78,451
工事保証引当金の減少額	△44,300
事業所閉鎖損失引当金の減少額	△5,279
受取利息及び受取配当金	△10,663
支払利息	388,135
株式交付費	44
固定資産売却損	6,650
固定資産除却損	12
売上債権の減少額	225,244
たな卸資産の増加額	△18,241,665
仕入債務の減少額	△84,251
未払消費税等の減少額	△80,414
未収消費税等の増加額	△129,352
預り保証金の増加額	1,250,554
その他	66,510
小計	△11,373,218
利息及び配当金の受取額	12,913
利息の支払額	△388,048
還付法人税等の受取額	202,417
法人税等の支払額	△3,831,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,377,298

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の預入による支出	△405,290
定期預金等の払戻による収入	1,110,679
有形固定資産の取得による支出	△185,794
有形固定資産の売却による収入	840
無形固定資産の取得による支出	△28,188
投資有価証券の取得による支出	△586,700
差入保証金の増加による支出	△156,796
差入保証金の払戻による収入	67,939
その他	4,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,283
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額	8,870,500
長期借入れによる収入	5,932,000
長期借入金の返済による支出	△2,862,550
社債の償還による支出	△54,000
株式の発行による収入	1,235
配当金の支払額	△329,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,557,286
IV 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△3,999,294
V 現金及び現金同等物の期首残高	10,169,282
VI 現金及び現金同等物の期末残高	6,169,987

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

	不動産再生事業 (千円)	不動産サービス事業 (千円)	その他不動産 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	26,247,511	1,244,214	173,844	27,665,570	—	27,665,570
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	15,437	—	15,437	(15,437)	—
計	26,247,511	1,259,651	173,844	27,681,007	(15,437)	27,665,570
営業費用	20,474,706	1,257,197	38,070	21,769,974	593,658	22,363,633
営業利益（又は営業損失）	5,772,804	2,454	135,773	5,911,032	(609,095)	5,301,936

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

海外売上高がないため該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。